

コロナ影響 タブレットで面会

05月13日 17時10分



橋本市の病院では、新型コロナウイルスの影響で家族と面会ができない入院患者のためにタブレット端末を使って面会してもらう取り組みを始めることになり、13日、試験的な運用が行われました。

橋本市の紀和病院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため入院患者と家族などの面会を制限していますが、不安の解消につなげたいとタブレット端末を使って、互いの顔を見ながら話せる「テレビ面会」を導入することになりました。

13日は試験運用が行われ、訪れた家族がテレビ面会専用の部屋に入り、タブレット端末で入院している患者と面会しました。

面会した患者と家族は、互いの映像を見ながら体調をたずねたり、手を振ったりしていました。

体験した家族は、「面会はできないと聞いていたので不安でしたが、顔を見て話ができうれしかったです」と話していました。

紀和病院の梅村定司医師は、「患者本人と家族のケアのためにもなんとか面会できないか考えて、このサービスを導入しました」と話していました。

この病院では、タブレット端末を2台用意し、今月20日から本格的な運用を始めたとしていて、利用には、事前の予約が必要だということです。